

平成19年度 第1回 新潟市水道局入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成19年7月11日(水) 水道局3階 第3会議室		
内 容	1 新委員委嘱状交付 2 委員長及び委員長代理の選出 3 平成18年度下半期(平成18年10月～平成19年3月)における発注工事状況の報告 4 指名停止措置について 5 指名競争入札における試行(指名業者数拡大)について 6 当番委員より抽出された工事案件の審議		
委 員 (委員数 5名) (出席数 4名)	委員長	佐々木 隆 輔 (公認会計士)	(出席)
	委員長代理	岩 瀬 昭 雄 (大学教授)	(欠席)
	委 員	板 垣 剛 (弁護士)	(出席)
	委 員	市 川 賢 吾 (アルバイト)	(出席)
	委 員	猪 又 勝 (会社員)	(出席)
審議対象期間	平成18年10月 1日 ～ 平成19年 3月31日		
抽 出 案 件	10件(対象工事総件数179件)		
制限付き 一般競争入札	1件	①広亀18第6号	配水管幹線布設工事
指名競争入札	7件	②施西18第36号 ③施出津第2号 ④施白第15号 ⑤施小豊第2号 ⑥浄青施第1号 ⑦浄阿営第18号 ⑧浄青営第4号	配水管布設工事 配水管布設工事 配水管布設工事 配水管布設工事 水質計測設備改良(第二期)工事 11・12号ろ過池砂層更生工事 1号配水・2号南山送水ポンプ点 検修理工事
随意契約	2件	⑨撤18第7号 ⑩施白第7号	配水管撤去工事 配水管布設工事

質問・意見	回答
	<p>・昨年1月より行ってきた指名業者数拡大の試行について、今年度から一般競争入札が拡大されたことや、合併による2年間の激変緩和措置が終了したこと、また、今までの経過を見ても必ずしも効果があると言えない為、終了とさせていただきます。</p>
<p>・合併による激変緩和措置も終了し、一般競争入札も拡大された。入札の際の業者数も確保でき、参加者が多ければ、真剣に競い適正な入札につながっていくでしょうし公正性も出ると思うので、試行については終了ということで承認する。</p>	
<p>・抽出事案①について、落札率が81.33%と比較的低い。さらに、入札参加業者が30社もいたのに下回りによる無効が一件もない。最低制限価格の設定範囲内の中でもかなり低いところで設定したのか。</p>	<p>・特別なことはやってはいないので、なぜ無効が一件もなかったのかは推測しかねるが、参加業者によるシビアな積算の結果なのではないかと思っている。</p>
<p>・案件ごとに最低制限価格を設定しているという事だが、その基準は何か。</p>	<p>・配水管布設工事に関しては、直接工事費の部分においては個別に違うことがあまりないため、間接経費等の部分において調整するかたちをとっている。</p>
<p>・工事費内訳書について、入札額に見合ったものがきちんと提出されているのか。</p>	<p>・きちんと提出されている。一般競争入札については、応札業者全ての内訳書を検査室でチェックしている。</p>
<p>・特殊工事について、関係業者が少ないため指名業者数が少なくなるということだが、競争性は働くのか。加えて辞退者が出れば、ますます競争性は働かないのではないのか。何か良い方法があればと思うが、こういった特殊工事の場合、一者随契でも良いのではないか。</p>	<p>・機械のメンテナンス等において、既設機械のメーカーでなければ出来ない場合などは一者随契としているが、数社でも他の業者も出来るのであれば、競争性は働くと考えて入札にしている。</p>
<p>・一者随意契約の理由について、規定の2号から9号まで条項があるが、どういう理由で何号に該当するのかなど、もう少し詳しく記載したほうが分かりやすく良いのではないか。</p>	<p>・補足説明等、丁寧に記載するようにしていきたい。</p>

<p>・他の行政との関連工事の場合、必ず一者随契にするのか。</p>	<p>・基本的には、掘削断面が同じ場合に一者随契としている。理由としては、掘削断面が同じ工事の場合に他の業者が入ると、施工が難しくなるということがある。</p>
<p>・ひところ、こういった委員会などができて、シビアに見られている時期は、業者も自粛した。しかし淘汰される業者が出たりして、やはり自分達を守るためにはそこそこ上手くやっていないと、という業者もいるように聞く。これをチェックするには設計図書が一番と思われる。是非、その辺に意識的に目を配っていただきたい。</p>	<p>・局側からのチェック、姿勢について、改めて調査研究を努力していきたい。</p>
<p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 次回の抽出案件を板垣委員に委任</li><li>・ 次回は11月に開催予定</li></ul>	